

亙理町立吉田中学校

教諭 妹尾 文男

1 研究主題

納税者意識を高める指導の工夫

～生徒の疑問を大切にしたい授業づくりと税について考える機会を増やす実践から～

2 主題設定の理由

8月に開かれた租税教室座談会において、中学校の3年間で租税教育にあてられる時間が1時間という実態に関係各位から驚きの声をいただいた。その声には、「3年間で1時間では租税教育のねらいを達成するには少なすぎる」という嘆きが含まれているように感じられた。租税教育のねらいは、「納税意識の高揚」（仙台南地区租税教育推進協議会会則第1条）であり、「社会や国を支える税の意義や役割を深く理解し、税を通して社会や国の在り方について考える」（『租税教育の事例集～租税教育の充実に向けて～』）ことにある。しかし、1時間の授業では税の種類や仕組みを理解することに終わりがちになっていたため、授業以前にもさまざまな段階・場面で税について考える機会を増やすことで、税を身近に感じさせるとともに、来年度以降の租税についての授業にも深みを持たせることができるのではないかと考えた。

また、今年度、租税教育を受ける中心となる3年生にとっては、本発表会の日程の都合もあって、経済の単元の中から租税に関する題材だけを取り出して先に学習せざるを得ない。そこで租税に関する授業においては、生徒の疑問を集約し精選して取り上げながら授業を構築することで、生徒の興味関心を高め租税教育のねらいにせまることができると考えた。

3 研究目標

授業以外にも税について考える機会を増やし、租税についての学習を通して納税者意識を高めるための指導法を探る。

4 研究の方法

- (1) 税に関する作文、税の標語への取り組みで税について考える機会を増やす。
- (2) 文化祭の展示発表で税について啓発するコーナーを設ける。
- (3) 租税に関する授業を生徒からの疑問を構成して展開し、租税の意義や役割を理解させる。また、公平な税制について考えさせる活動などを通して納税者意識を高める。
- (4) 学習のまとめとして租税教室を実施し、租税への理解を深める。

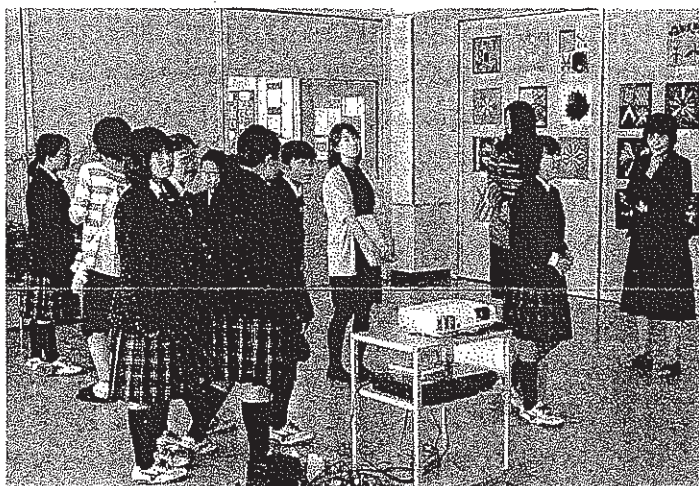
5 研究の概要

(1) 税に関する作文への取り組み

税に関する作文を3年生の夏休みの課題の1つとして課した。他に2点あった応募作文とあわせ3点の中から1点を選ばせたが、32名中27名が税に関する作文を選んで作成した。租税については全く学習していない段階での作文ではあったが、生徒は配布されたリーフレットを読んだり、家庭のPCから国税庁HP「税の学習コーナー」を参考にしたりして作文を仕上げている。内容も、新国立競技場と互理の堤防の建設に触れたもの、北欧の高福祉社会に言及したもの、消費税の逆進性に意見を述べたもの等、多岐に渡っていた。

(2) 文化祭展示発表

上記の税に関する作文はすべて文化祭に展示し、来場者が読めるようにした。また、仙台南税務署の協力を得て、啓発用DVD「マリンとヤマト 不思議な日曜日」を展示会場で上映した他、教材1億円レプリカを展示し誰



でも触れるようにした。こうした教材は特に中学1年生が興味を示していた。全学年の生徒には作文を読んで感想を書く課題を課した。さらに、税についての理解を助けるため、「わたしたちの生活と税」(協力：全国中学校社会科教育研究会)の資料も一部を掲示した。

(3) 税の標語への取り組み

文化祭終了後、全学年生徒に税の標語を書かせた。文化祭の展示発表を見ていたこともあって1・2年生も税を身近に感じた状態で標語の作成に取り組んでいた。なお、税の標語の募集期間と合わなかったため、今年度の作品は来年度の応募を予定している。



(4) 租税に関する授業 (中学3年 社会 公民 10月 全5時間)

租税に関する授業では毎時間、疑問に思ったことと今日の授業を受けての感想を書いてもらって回収した。

1時間目「町の税収と税の役割」

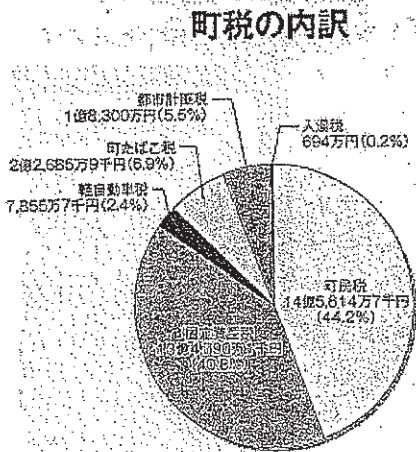
- ・「33」これは亙理町が1年間に集める税金の額です。いくらでしょうか？
3300万円、3億3000万円という予想が多く、33億円という金額にほとんどの生徒が驚き、税への興味関心を高めていた。
- ・この税金(国税もふくむ)はどんなことに使われているのでしょうか？
生徒の発表を類型化しながら板書し、社会資本と公共サービスの2つに大別されることを確認した。

(感想) 亙理町の1年の税収が33億円だということにとっても驚きました。亙理町はあまり人がいないと思うのにこの額を集めているということは、人口が多い仙台市などになったらもっとすごい額になるのだらうと思いました。

2時間目「財政の働きと政府の役割」

- ・ (疑問) 先生の給料はなぜ税金なのか？
(疑問) なぜ税金でつくられる病院とそうでない病院とがあるのか？
私立学校の教員や人口規模の小さな地域の診療所をケースに考えさせ、財政で賄う必要性を理解させた。
- ・ (疑問) 税がなぜ高くなってきているのか？
社会の進展とともに「小さな政府」から「大きな政府」へと役割が変化してきた。
- ・ (疑問) 亙理町はなぜ33億円も税を集められるのか？
「広報わたり2015年4月号」から町税の内訳を資料として配布し、いくつもの税があることに目を

(感想) 税が上がっても給料は上がらないので、先生も税金が上がってもうれしくないしかわいそうだと思った。亙理町が本当に33億円も集めていたからびっくりした。それに町たばこ税でけっこう集まるなあと思った。



初等算の授業で
町税の内訳を
学習する

3 時間目「さまざまな税と税の種類」

- ・ (疑問) たばこや酒を飲んだ時、いつ税を取られるのか?

ビールやタバコの価格にふくまれる税の割合、消費税をふくむ間接税のしくみを説明した。

- ・ (疑問) 税の種類はどのくらいあるのか?

県租税教育推進協議会制作のパンフレット「私たちの暮らしと税」を配布してどんな税があるのかを学習させた。

- ・ (疑問) 直理町は何に33億円も使っているのか? こんなにたくさんの税があるのになぜ直理は良い町にならないのか? なぜ直理は33億円も税を集めているのに企業を誘致しないのか?

「広報わたり2015年4月号」から平成27年度の主な事業を印刷して配布し、町の歳出について自分の意見を出させた。

(感想) 直理がいろいろな仕事をしていることがよくわかった。でもイノシシ対策に105万円とかさざんか号に3800万円とか、そこまでいらなと思う。それより町で一番古い吉中を修理してほしい。窓が外れて落ちるとか危なすぎる。

4 時間目「公平な税のしくみとは? (所得税と累進課税)」

- ・ (疑問) イノシシ対策に105万。これは本当に必要ですか?

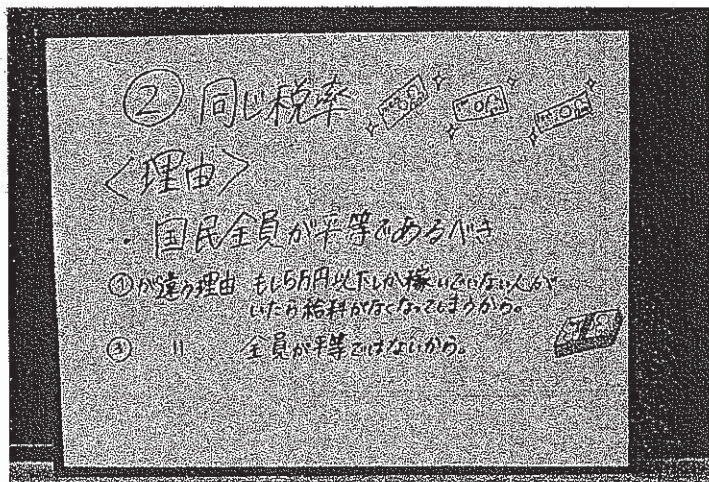
イノシシで被害を受けている町民がいることを想像させ、世の中にさまざまな立場の人がいることをふまえた上で、だれもが暮らしやすい町をつくるのが大切であることを確認して次の活動への布石とした。

- ・ (疑問) 消費税はみんな8%だけど、5%の人もいれば50%の人もある税があるって本当? 所得税ってみんな同じ金額を払っているの?

累進課税のしくみについて説明したあと、どんな税の集め方がよいと思うか、①同じ金額 ②同じ税率 ③累進課税 ④その他の中から考えさせ、少数で話し合った結果をホワイトボードで発表させた。

①の同じ税率を選んだ班が6つ、③の累進課税を選んだ班が3つという結果となった。選んだ理由としては、平等であることを挙げるグループが多かった。そこで所得が200万円の人と1億円

の人の納税額と納税後の所得、さらに税収の合計を考えさせた。



同じ税率25%

所得	200万円	1億円
税率	25%	25%
税収	50万円	2500万円

累進課税5%~45%

所得	200万円	1億円
税率	5%	45%
税収	10万円	4500万円

本時の学習のまとめとして「累進課税」という語句を入れた川柳をつくらせた。

(川柳) かせいでも 累進課税 さようなら
 貧乏は 累進課税 賛成だ
 苦勞人 (くろうと) を 累進課税が 支えてる
 所得格差 累進課税で なくそうよ
 いいアイデア 累進課税 ありがとう
 ありがとう 累進課税 大好きよ

(感想) とても難しい問題だと思った。太郎くんが発表していたとおり、お金持ちの人が50%引かれてもまだ生活できる。でも貧乏な人が50%引かれると25円。チロルチョコ2個しか買えなくて生活できない。とても共感できた。

5時間目「公債とこれからの税」

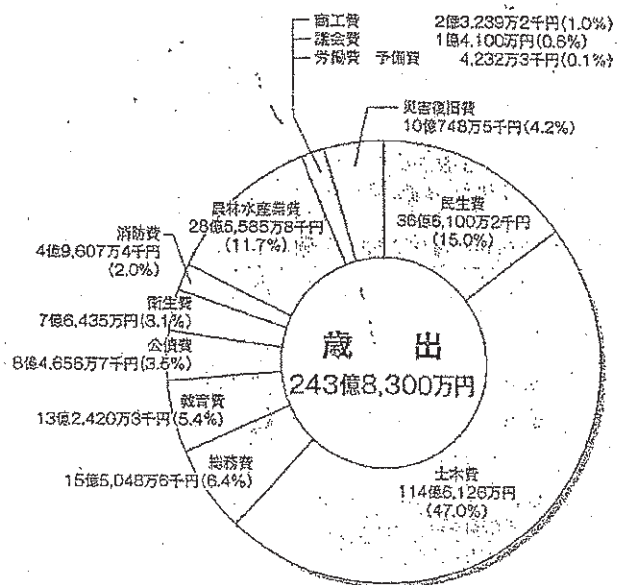
上記の川柳を紹介した後、互理町の歳出内訳を提示し、その場で疑問を出させた。

(疑問) 互理町は税収が33億円なのに、243億8300万円も使っている！足りない分はどうしているの？

公債の発行と公債費の負担に触れ、町や国の在り方を考えてもらった。

歳出の内訳

【一般会計】



(感想) そんなに借金があるとは知らなかったのととても驚きました。あとで利子をつけて返さなければならぬので、あまり借金はしてほしくありません。でも、どんな人にも優しい町であってほしいから歳出は減らせないし、どうしたらいいのだらうと思いました。

日本はすごく借金が多いと聞いたことはありますが、誰から借りてるんだらうと疑問でした。でも今日の授業で、銀行や個人から借りていることがわかってびっくりしました。個人から借りているなんて考えもしませんでした。借金をしているんだからこれからはお金をもっと大切にしようと思いました。

累進課税で所得格差が少しでも小さくなってくれたらいいなあと思いました。(累進課税は) すごくいいしくみだと思います。でもこの先もっと借金が増えていったらどうなるんだらうと心配にもなりました。借金を返さなければならぬのは私たち(の世代)なので、税金がムダに使われないようにもっと税のことを知りたいと思いました。

(5) 租税教室 (中学3年 11月2日)

(有) 木村経営管理会計から税理士の木村拓也様にお越しいただいて、3年生で租税教室を実施した。生徒から出されていた税に関する疑問を事前に FAX でお伝えし、可能な範囲で回答いただけるようお願いしておいた。

- (疑問)・税について誰が初めて考えたのか？
- ・税金はなぜ50種類もあるのか？ ★
 - ・集めた税金があまったらどうするのか？ ★
 - ・なぜ温泉に入っただけで税を取られるのか？
 - ・入湯税が694万円ということは互理温泉だけで1年間の入湯税をかせいでいるの？
 - ・ゴルフ場利用税というのがあるけど、バッティングセンター利用税はあるの？
 - ・ゴルフ場でゴルフをすると税金がかかるのはなぜ？
 - ・消費税が一番高いところはどこか？消費税がない国はあるのか？
 - ・消費税はどのくらいまで高くなるのか？
 - ・法人税はどのくらい納めるのか？
 - ・相続税はどのくらい納めるのか？
 - ・歳出を抑えることはできないか？
 - ・どうすれば国や町の借金はなくなるのですか？ ★

当日は、「まんがでわかる！税って何かな？」(日本税理士連合会)を活用しながら、税について教えていただき、途中で生徒からの疑問にもお答えいただいた。また、合わせて300万円の税収を得るために3段階の所得階層からそれぞれいくら納税してもらうかを考えさせる税金ゲームも取り入れていただき、生徒は楽しみながら学習に参加していた。

税金ゲーム どうすれば、みんな仲良くできるのか

所得：収入から雑費を引いた金額、いわゆる自由に使えるお金

税金ゲーム

	所得						
A)11万	700万						
B)20万	250万						
C)15万	50万						
計	1000万						

6 研究の成果と課題

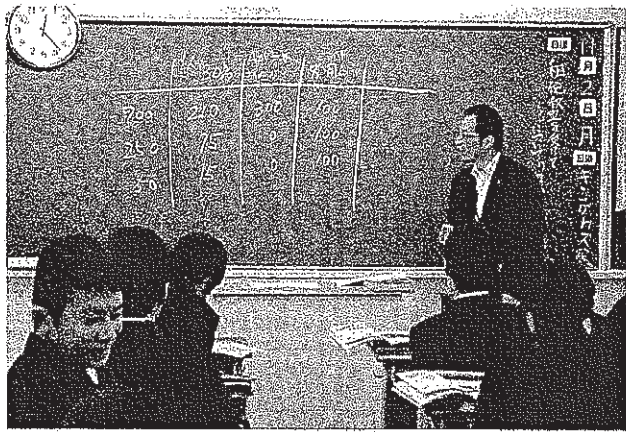
【 成果 】

・税に関する作文については、租税教育を受けていない段階であったにもかかわらず、生徒は予想以上の内容の作文を書きあげてきていた。これはリーフレットや国税庁HP税の学習コーナー等によるところが大きいと思われる。一部の生徒は家庭で話題にあげ家族と税について話したと聞いている。

・文化祭で税について啓発するコーナーを設けたことで、他学年の生徒はもちろん小学生や保護者、地域住民等の幅広い対象にも税について考える機会を設けることができた。これにより、税について考えたり話題にしたりする機会が増えたことと考えられる。また仙台南税務署からお借りしたDVDや1億円レプリカは税を身近に感じさせるのに大きな役割を果たした。租税教育を展開していく上で授業時間の確保は大きな課題の1つだが、今回の実践では授業時間を取らずに1・2年生に税の作文を読む機会を与え、税の標語を考えさせる場面を設定することができた。それにより来年度以降の本校の租税教育をいっそう深めさせる効果も期待できる。

・租税に関する授業は経済の単元の中から先行して取り出した指導ではあったが、生徒から募った疑問を軸として展開したために関心も高く理解しやすかったようで、授業後の感想では、「授業が楽しかった」「くわしく知ることができた。もっと知りたくなった。」と好評だった。公平な税制を小集団で考える活動(4時間目)や累進課税川柳等からも「誰にとっても優しい町・国であってほしい」「みんなから集めた税金をムダにせずみんなのために使ってほしい」という意識の高まりが見られた。

・租税教室の税金ゲームでは、3段階の所得階層から自分の階層を選択させた上で各階層の納税額を考えさせ発表させた。その後、翌年は所得が大きく変化したという設定で自分の発表を改めて考えさせたため、どんな階層の人からも不公平感の少ない税制を考えさせることができた。また、事前に送付していた生徒からの質問に税理士の先生からていねいな解答をいただくことができた。



【 課題 】

- ・租税教育を学校で実施する時期については課題が残る。標準的なカリキュラムでは租税について学習するのは中学3年の1月の予定のため、授業も作文や標語への取り組みも指導の日程が取りづらい状況にある。
- ・指導時数の確保についても課題である。今回は租税教室をふくめて6時間を割いたが、今年度だけの実践に終わらせるのではなく、毎年継続が可能な実践の研究が今後の課題である。